

消毒機械の使い方

始動手順

①燃料コックをオンにする。(つまみを縦にする。)



①

②チョークが「閉」になっていることを確認する。



②

③ハンドル左横のレバーを半開にする。



③

④ひもを引っ張り、エンジンをかける。
(ひもを軽く引いて、重くなった位置から強く引いてください)



④

⑤エンジンがかかってからチョークを「開」に戻し、この状態でマフラーが熱くなるまで待つ。(約五分程度)ここで五分待たないと作業途中でエンジンが止まります。



⑤

⑥ハンドル左横のレバー(アクセルレバー)を全開にします。



⑥

⑦左側の霧のダイヤル(右側は絶対あたらない)を開け、霧を出します。
(地面が消毒液で濡れない程度の霧の量が最適です。)



⑦

” さあ、消毒作業開始です。”

注意事項を守って消毒作業を行ってください。

※ 操作前後の確認事項



- ①キリダイヤルが「0(ゼロ)」になっているかを確認。
- ②燃料コックが横(オフ状態)になっているかを確認。
- ③チョークが「閉」になっているかを確認。
(エンジンを止めたときは必ずこの状態に戻してください)
- ④薬剤、燃料が少なくなったら早めに補充してください。
(薬剤、燃料に空気が入り薬剤が出なくなったり、
燃料がいかずエンジンがかからなくなったりします。)

[トラブルの対応]

消毒機械がうまく作動しません。故障ですか？

A. 以下のことを点検してください。

- ①キリダイヤルが「0(ゼロ)」になっているかを確認。
→薬品の液漏れ原因となります。
液漏れが起こると、エンジンがかからなくなります。
- ②燃料コックが縦になっているかを確認。
- ③チョークが「閉」になっているかを確認。
- ④エンジンがかかってから、チョークを「開」にし、五分ほど待ってからアクセルレバーを「全開」にしないとエンジンが安定しません。

以上のことを確認し、操作手順どおりに始動させて下さい。
※消毒機械はデリケートな機械です。手順どおりに始動させなければ、エンジンがかからなくなってしまうだけでなく、故障してしまいます。

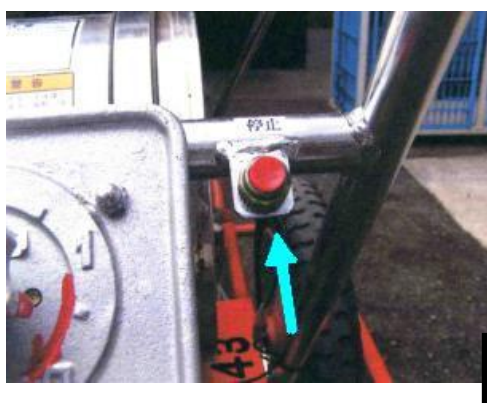
※[機械の取り扱いには十分説明書を読んで丁寧に
取り扱って下さい。機械の破損等が生じた場合は、
修理費用を負担していただくことになります。]

消毒終了
その後・・・

- ①煙のダイヤルを必ず「0(ゼロ)」に戻す。
(「0(ゼロ)」に戻さないと、エンジンがかからなくなります。
また故障の原因となります。)
- ②ハンドルの左横のレバー(アクセルレバー)を戻す。



- ③停止ボタンを押す。(止まるまで押し続ける。)



- ④燃料コックをオフにする。(つまみを横にする。)

